

東北海区沿岸水温予報(2026年)

海域	経過 (1~3月)	現況(4月上旬~ 4月中旬)	見通し (4月下旬~6月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:1月から3月にかけて平年並みからやや高めであった。</p> <p>・3月の津軽暖流の水温は0m、50m、100mの各層でやや高め、水塊深度はやや深め、津軽暖流の東方への張り出しはかなり東偏。</p>	<p>・定地水温は平年並み。</p> <p>・4月の対馬暖流域の水温は0m層でかなり高め、50m、100mでやや高め(日本海海洋観測結果)。</p>	<p>・津軽暖流域の水温は平年並み~やや低めで推移する。</p>	<p>・FRA-ROMSによると、津軽暖流域の水温偏差が平年並み~やや低め傾向の予測となっているため。</p>	特になし
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>1月(1/26~27, 29) 《表面水温》 10海里以内は、7~9℃台で黒埼及びトドヶ埼定線で「平年並」、尾埼定線で「やや低い」~「平年並」、樺島定線で「低い」~「やや低い」。</p> <p>《100m深水温》 10海里以内は、8~9℃台で黒埼、トドヶ埼及び尾埼定線で「平年並」、樺島定線で「やや低い」~「平年並」。</p> <p>※荒天により、各定線の0~10海里を観測。</p> <p>2月(2/18, 20, 24~25) 《表面水温》 10海里内は、1~7℃台で黒埼定線で「低い」~「平年並」、尾埼及びトドヶ埼定線で「極めて低い」~「平年並」、樺島定線で「平年並」。</p> <p>20~50海里内は、2~8℃台で黒埼定線で「やや低い」~「やや高い」、トドヶ埼定線で「低い」~「やや高い」、尾埼及び樺島定線で「低い」~「平年並」。</p> <p>《100m深水温》 10海里内は、6~8℃台ですべての定線で「平年並」。</p> <p>20~50海里内は、2~8℃台で黒埼及びトドヶ埼定線で「やや低い」~「やや高い」、尾埼及び樺島定線で「やや低い」~「平年並」。</p> <p>3月(3/9~10, 17) 《表面水温》 10海里内は、3~7℃台で黒埼及び樺島定線で「やや低い」~「平年並」、トドヶ埼定線で「低い」~「やや高い」、尾埼定線で「やや低い」~「やや高い」。</p> <p>20~50海里内は、2~10℃台で黒埼定線で「やや低い」~「高い」、トドヶ埼及び樺島定線で「平年並」~「高い」、尾埼定線で「低い」~「やや高い」。</p> <p>《100m深水温》 10海里内は、5~7℃台で黒埼、尾埼、樺島定線で「平年並」、トドヶ埼定線で「平年並」~「やや高い」。</p> <p>20~50海里内は、4~10℃台で黒埼定線で「平年並」~「やや高い」、トドヶ埼及び尾埼定線で「平年並」、樺島定線で「平年並」~「高い」。</p>	<p>4月(4/8~9, 13) 《表面水温》 10海里内は、6~7℃台で黒埼、トドヶ埼及び尾埼定線で「平年並」、樺島定線で「やや低い」~「平年並」。</p> <p>20~50海里内は、6~10℃台で黒埼定線で「平年並」、トドヶ埼及び尾埼定線で「やや低い」~「平年並」、樺島定線で「やや低い」~「やや高い」。</p> <p>《100m深水温》 10海里内は、6~7℃台ですべての定線で「平年並」。</p> <p>20~50海里内は、4~8℃台で黒埼定線で「平年並」~「やや高い」、トドヶ埼及び尾埼定線で「平年並」、樺島定線で「やや低い」~「やや高い」。</p>	<p>5月中旬 0海里定点の10m深水温は、すべて定点で「やや高い」と予測された。</p> <p>100m深水温は、すべての定線で「平年並」と予測された。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した、水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p>1月:表面及び100m水温は、どちらも10~12℃で、ほぼ平年並みであった。前年差は2~5℃低かった。</p> <p>2月:表面及び100m水温は、どちらも10~11℃で、ほぼ平年並みであった。前年差は2~4℃低かった。142°Eより沖合には津軽暖流が差し込んで来て、平年より1℃程度高かった。</p> <p>3月:表面及び100m水温は、どちらも8℃程度で平年より1℃程度低かった。前年差は2℃程度低かった。</p>	<p>表面水温は、8~12℃で牡鹿半島より東側では、ほぼ平年並みだが、仙台湾の南側では2~3℃高かった。前年差は、北部海域では1~2℃低かった。金華山より南側では、ほぼ、前年並みであった。142°E付近では沖合ほど差が大きくなり3℃高かった。</p> <p>100m水温は、6~7℃で平年並みであった。前年差は142°Eより東側で大きくなり1~2℃高かった。</p>	<p>表面水温及び100m水温ともに気温の上昇とともに徐々に上昇し、平年値を上回ると思われる。また、三陸沖の暖水塊や黒潮続流の動向により、更に昇温することも考えられる。</p>	<p>FRA-ROMS II等の予報により三陸沖暖水塊や黒潮続流からの影響を受けやすいと考えられること、気象庁の季節予報で気温が高い確率が50%となっていること。</p>	<p>大型定置網の水揚量が4月に入って減少し、4月上旬合計で昨年比2.8%に留まっている。主な要因はマイワシの減少による。</p>

<p>常磐北部 (福島県沿岸; 福島水海セ 発表)</p>	<p>100m深水温 【1月】 南部沿岸「平年並」 ※北部および中部沿岸は欠測 【2月】 北部沿岸は「平年並」 中部沿岸は「平年並」 南部沿岸は「やや高い」 【3月】 北部沿岸は「平年並」 ※中部および南部沿岸は欠測 ※北部: 37° 50'N 中部: 37° 25'N 南部: 37° 00'N</p>	<p>100m深水温 【4月】 南部沿岸は「高い」 ※南部沿岸の観測は距離30海里以内の定点のみ(通常は50海里)。北部および中部沿岸は欠測</p>	<p>【5月】 「平年並」～「やや低い」 【6月】 「平年並」～「やや低い」</p>	<p>FRA-ROMS II の予測によると、5月の福島県海域142°00'E以西における100m深水温は、平年差0℃～-2℃の範囲であり、「平年並」から「やや低い」に相当している。 5、6月の本県海域は親潮からの冷水波及が見込まれるため、平年並みかやや低めに推移すると考えられる。ただし、南部沖合においては黒潮系暖水が波及する可能性があり、その場合は高め基調となる。</p>	<p>なし。</p>
<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試 発表)</p>	<p>1月: 調査船の定期修繕により、1月の海洋観測は実施できなかった。気象庁「海洋の健康診断表」によると、黒潮統流からの暖水波及の影響で、全層で概ね「平年並～やや高め」となった。 2月: 調査船の定期修繕により、2月の海洋観測は実施できなかった。気象庁「海洋の健康診断表」によると、黒潮統流からの暖水波及が継続し、全層で概ね「やや高め」となった。 3月: 黒潮統流と、黒潮統流から切り離された暖水塊からの暖水波及の影響で会瀬～大洗の全層全域で「やや高め～極めて高め」となった。</p>	<p>黒潮統流からの暖水波及の影響で、0m深では概ね「やや高め」、50m以深では「やや高め～高め」となった。</p>	<p>黒潮統流からの暖水波及の影響が継続するほか、親潮系冷水の影響は受けにくいと考えられることから、0m深は「平年並～やや高め」、50m以深は「やや高め～高め」で推移する見込み。</p>	<p>海洋観測結果、気象庁「海洋の健康診断表」、FRA-ROMSIIによる。</p>	

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+7.2℃～	+3.8℃～	+6.2℃～	+5.8℃～	+5.4℃～	+6.3℃～
高い(7.5%)	+4.7～+7.1℃	+2.5～+3.7℃	+4.0～+6.1℃	+3.8～+5.7℃	+3.5～+5.3℃	+4.1～+6.2℃
やや高い(20%)	+1.9～+4.6℃	+1.0～+2.4℃	+1.6～+3.9℃	+1.5～+3.7℃	+1.4～+3.4℃	+1.7～+4℃
平年並(40%)	+1.8～-1.8℃	+0.9～-0.9℃	+1.5～-1.5℃	+1.4～-1.4℃	+1.3～-1.3℃	+1.6～-1.6℃
やや低い(20%)	-1.9～-4.6℃	-1.0-2.4℃	-1.6～-3.9℃	-1.5～-3.7℃	-1.4～-3.4℃	-1.7～-4℃
低い(7.5%)	-4.7～-7.1℃	-2.5～-3.7℃	-4.0～-6.1℃	-3.8～-5.7℃	-3.5～-5.3℃	-4.1～-6.2℃
極めて低い(2.5%)	-7.2℃～	-3.8℃～	-6.2℃～	-5.8℃～	-5.4℃～	-6.3℃～

1996年1月～2025年12月の100m深度の観測水温を基に階級区分している